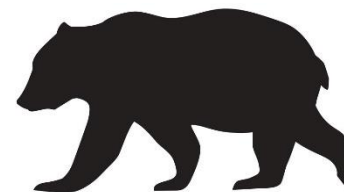


キノコを採る際のクマ対策

- ・ 秋のクマ（ドングリを採食）は昼も夜も関係なく行動します。
いつでも、クマと遭遇する可能性があります。
- ・ クマとの遭遇時に備えて**ヘルメットを着用**しましょう。
- ・ 可能な限り**複数人で、クマ鈴等で音を鳴らしつつ行動**しましょう。
例 シロの近くに行くまでは複数人で、音を鳴らしつつ行動。
(単独よりも複数で行動したほうがクマとの遭遇・事故のリスクは減らせます。)
- ・ やむなく単独行動で音も出せないなら、**周囲の音やクマがいないかを十分、確認しつつ行動**しましょう。
複数人で、音を鳴らしていても沢の音等でクマ鈴等の音がクマに聞こえず、クマも人もお互いに気付かず、接近してしまうことがあります。**クマがいないか周囲を確認しつつ行動**しましょう。
- ・ クマの**痕跡（糞、足跡、クマだな等）に注意し、見つけたら、すぐに引き返しましょう。**
- ・ 仲間と分かれて**単独行動後は、なるべく頻繁に仲間と互いの安否確認**を行いましょう。
- ・ **遭遇時はゆっくり後ずさり、万が一クマが襲ってくるようであれば、うつ伏せで首の後ろを守り、動かないように**しましょう。

秋のクマに注意！



○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を、昼も夜も探し回ります。

エサを求めて里地に出没し、カキやクリを食べることもあります。

○ 晩秋から、ツキノワグマは冬眠をはじめます

冬の間は食べ物がいないため、クマは11月中旬頃から概ね12月末までに、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。

※時期は目安です。地域やその年の気候により異なります。

クマと遭遇したり、里地に近づけたりしないよう下記に注意してください。

◇ クマ鈴、ラジオ、笛などを、常に携帯する

クマは聴覚が人より優れており、人の存在を感じたクマは自ら逃げていきます。

クマ鈴、ラジオ、笛等、音の出る物を常に鳴らして人の存在を知らせつつ行動しましょう。

◇ 朝夕の行動は避け、複数人で行動する

朝夕はクマが活発に活動する時間帯です。この時間帯に林近くの散歩、ランニングは避けましょう。

1人で行動せず、複数人で行動しましょう。

里地でも朝夕はクマ鈴等で大きい音を鳴らしましょう。

◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがあります。またキノコを採る森にはドングリを探すクマも現れます。キノコに夢中になりすぎないように周囲を確認しながら移動しましょう。

（別添「キノコを採る際のクマ対策」参照）

◇ 食べ物の匂いを漏らさないよう注意する

クマは人間よりはるかに鋭い嗅覚があります。キャンプや登山等で山に食べ物を持ち込む際は、匂いの漏れない袋などへの密閉や残った食材は放置せず持ち帰るなど、クマを誘引しない心がけが必要です。人の食べ物の味を覚えたクマは危険を冒しても出没を繰り返すようになります。

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、果実を収穫せず放置してしまうとクマのエサとなりクマを誘引してしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採すること、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置すること、民家周辺のヤブを刈り払って見通しを確保するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサとなります。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、クマが人を怖がらなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。